



※写真左から2番目

## 世界保健機関（WHO）での勤務



世界保健機関（WHO）本部  
医薬品安全性監視チーム

高梨 文人 TAKANASHI Fumihito



厚生労働省からの出向者として2021年9月よりWHOに勤務し、WHOの職員として世界の公衆衛生の向上のため業務に取り組んでいます。医薬品副作用情報の世界的な収集・分析・発信システムの運営や、加盟各国の規制システムの強化・連携促進のための技術的支援を行っています。今はリモートが中心ですが、実際に加盟国の規制当局を訪問して担当者と議論することもあります。休暇には、ヨーロッパの歴史的な街

並みやスイスの豊かな自然を見に行くこともできます。

仕事は全て英語で行われますので、医薬品規制に関する知識と語学力の両方が求められます。私は入省時には自分が国際機関で働くことは想像していませんでしたが、厚生労働省でのこれまでの業務や海外留学の経験が活きて、この職務を担えるようになりました。国際保健の分野に興味を持った方はぜひ目指してみてください。